

2020 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [知多市立佐布里小学校] 担当教諭名 [竹迫 亮祐・近藤 直子] (6年1・2組 77名)

相手国・地域 [フランス]

海外学校名 [Groupe Scolaire Carlepont] 担当教諭名 [Jean-Marie Lelong]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単 元 名	時間数
	総合的な学習の時間	外国の子ども達と理想の未来表現しよう	30

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	私たちの理想の未来 ～新しいスタート～
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	COVID-19 が終息したら、前のようにマスクを外し、外国の人たちも含めて観光地に行ったり、食事をしたりしたい。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が外国の文化に触れることができたこと。 日本にいても、インターネットで海外とつながることができることと子ども達が実感できたこと。 話し合う力が子ども達についてきたこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本側が絵を描いたところまでの振り返りはできたが、フランスの子ども達が描いてからは、時間を取った振り返りができなかったこと。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 見た目の違い、学校生活の違い、感染症対策の違いなど、違いに目を向ける子が多かった。でも、その違いを認め、共存していきたいという思いを持つ子が多くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> フランス郵便局の対応には、未だに違和感はありませんが、ジャンマリーさんが熱心に動いてくださり、子ども達のためになんとかしてあげたいという思いがあることが分かり、うれしくなった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	7月 9月	自己紹介カードの作成	見た目の違いや、学校の雰囲気の違いにとっても驚いていた。	総合4
共有 テーマ学習	7月 9月 10月	新型コロナウイルス感染症の調べ学習 新聞づくり フランスの子ども達にも伝わるように英語で文章化する。	どの活動にも熱心に取り組んだ。話し合いの際は、お互いの意見をよく聞きあった。	総合16
融合 メッセージ作成	11月	完成イメージの相談 下書き作成	理想の未来を表す際、人の顔を笑顔にして、明るい未来を表現したいとつぶやいていた。	総合4
創造 壁画制作	12月	布への下書き 色づけ サイン	相手といい絵をかきたいという思いが強かった。下書きから着色まで丁寧にいった。	総合4
評価 振り返り 自己評価	3月	鑑賞	すごいという反応が一番多かった。フランスの子ども達の絵がよく分からないという反応もあったが、どういふことか考えようと伝えと、フランスの思いを共有した。	総合2

■アートマイルでつuitた力について教えてください。

評価 (5:とてもつuitた 4:つuitた 3:どちらともいえない 2:あまりつuitなかつた 1:つuitなかつた)

学習目標・つuitたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	相手校から送られてきた動画を見て、日本とフランスの似ているところ、違うところを考えさせる場面では、興味を持って考えることができたから。また、違いはあるが、その違いも理解しようとする話が出たから。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	コロナウイルスについて、客観的に考えさせたり、問題を多面的に考えさせたりする活動を私たち教師が提供できなかったから。
主体的に考え行動する力	4	コロナウイルスの対策や課題を自分たちで調べ、新聞にまとめる際、普段の生活から対策をしないといけないと考え、実行に移す子が多かつたから。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	3	校内の児童とは、さまざまなグループに分かれて話し合い、協力する姿がよく見られた。しかし、海外の子ども達と直接話し合ったり、手紙の交換をしたりしたわけではないから。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	壁画に自分たちの思いや願いを絵だけで表現することができたから。